

ICT 共通基盤技術検討 WG 報告（骨子案）

2012年6月13日

ICT 共通基盤技術検討 WG

目次

1. ICT の現状	6
2. 第 3 期科学技術基本計画フォローアップ結果	23
3. ICT・WG の検討の全体像	29
4. ICT 共通基盤技術の全体俯瞰	30
5. ICT 共通基盤技術の重点化	33
6. 推進方策等に関するメンバーからの意見.....	35
7. 今後の検討課題.....	39

はじめに

- 第3期科学技術基本計画において情報通信技術の研究開発の成果を活かし、ICTは第4期科学技術基本計画の推進に引き続き貢献していく必要がある。
- 第4期科学技術基本計画は、科学技術イノベーションの一体的展開等を基本方針とし、技術分野別の重点化から社会の課題対応型の重点化へ大きな考え方の転換がなされた。このことを踏まえ、ICTは、震災からの復興、再生の実現、グリーンイノベーション、ライフイノベーション等の社会の多様な課題解決に貢献する重要な共通基盤的な技術として、一層、技術開発・イノベーションを強力に推進する必要がある。
- 総合科学技術会議では、第4期科学技術基本計画の推進体制を構築。科学技術イノベーション政策推進専門調査会の下、課題対応の産官学等の議論の場として、復興再生戦略協議会、グリーンイノベーション戦略協議会、ライフイノベーション戦略協議会等を設置した。これらの戦略協議会等と緊密な連携をとる形で、ICTとナノテクノロジー・材料については共通基盤技術の検討の場として、それぞれ、ICT共通基盤技術検討WG、ナノテクノロジー・材料共通基盤技術検討WGが設置された。
- ICT共通基盤技術検討WG（以下、「ICT・WG」という。）は、第4期科学技術基本計画の基本方針を踏まえ、課題対応の戦略協議会等との連携を図りつつ検討する体制（メンバーの兼務等）を取るとともに、最初から特定の技術の重要性を議論するのではなく、ICTの主要な共通基盤技術の全体を俯瞰し、その技術ポテンシャルを抽出した上で、技術の視点からの評価軸に加え、ニーズ側への貢献の視点も考慮した技術の重点化やその推進方策等をPDCAを回しつつ、取りまとめ、課題対応の戦略協議会等の検討に寄与することを基本的な任務とする。
- なお、専ら半導体、MEMS等のデバイスに関する技術は、原則としてナノテクノロジー・材料共通基盤技術検討WGでの検討対象とする。

（参考資料） ・ICT・WGメンバー構成
・年間標準活動スケジュール